

新潟市環境対策課御中

平成 23 年 11 月 18 日

子どもたちを放射能から守る会@新潟

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。私達は、福島第一原発事故に起因する食品（給食）と環境の放射能汚染による、子ども達の被曝を危惧しております。新潟市の放射能汚染対策に関して、下記質問をさせていただきます。お忙しいところ恐縮ですが、これらの質問に対する回答を書面でいただければ有り難く存じます。回答は、子どもたちを放射能から守る会のホームページで公開させていただく予定です。出来る限り安全な食品（給食）と環境を子どもたちに与えるために、ご理解ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

給食に関する質問事項

質問1 学校給食の調理前食材並びに調理後給食の検査体制について詳しく教えてください。（検査対象の選定方法、1日あたりの検査数、検査結果の開示方法、検査機器、検出下限値など）

質問2 給食食材の産地を給食実施前もしくは後のいずれかで開示することは可能でしょうか？

質問3 今後、標準献立を作る段階で、放射能が検出される可能性が高い食材（以下危険食材と略します）に配慮して、これらの使用を控えるもしくは使用しない献立を作ることは可能でしょうか？

質問4 栄養教諭を対象とした、危険食材・放射能を減らす調理法等に関する勉強会を開催することは可能でしょうか？

質問5 新宿区・江東区・武蔵野市・稲城市等のように、お弁当・水筒持参を認めることを市のホームページ上で公表する、もしくは公式文書で関係各所・保護者に通達することは可能でしょうか？

質問6 学校給食会に加入している加工食品会社では、検査は実施されておらず、また食材の産地配慮もなされていません。この問題に今後新潟市としてどのように対応してく予定でしょうか？

食品全般に関する質問事項

質問 7 11月8日国会答弁における枝野大臣の「1年間当該規制値の量を飲み続ければ、健康に影響を及ぼす可能性があるということで定められた基準値についてのございますので・・・」という発言が話題になっています。この発言を受け、基準値と食の安全について新潟市としてどのように考え、どのように対処していく予定でしょうか？

瓦礫に関する質問事項

質問 8 被災瓦礫受け入れに関して、詳しく教えてください。

質問 9 瓦礫を受け入れる焼却場名・企業名を公表していただくことは可能でしょうか？公表できないとすれば、どのような理由から公表できないのでしょうか？

質問 10 福島近隣県の多くの一般廃棄物焼却施設において、焼却灰から1万ベクレル/kg以上の放射性セシウムが検出されていることから、近隣県の瓦礫の一部は放射能汚染されていると考えられます。瓦礫のサンプリングの検査では、汚染瓦礫の搬入を未然に防ぐことは難しいことが予想されますが、新潟市に汚染を拡大させないための具体的な予防策、またその予防策が万全であることの根拠をお示し下さい。万が一焼却灰が高度に汚染された場合の対応、情報開示方法もお示し下さい。

環境に関する質問事項

質問 11 関東近縁の調査で、原発から数百キロはなれた地域においてもホットスポットが散在していることが明らかにされており、これらの多くは文科省の航空モニタリングで検出されていません。新潟市においてもホットスポットが存在している可能性があり、より詳細な評価でこれを確認する必要があると私たちは考えますが、新潟市としてはどのようにお考えですか？

質問 12 横浜市でのストロンチウム検出を鑑みて、新潟市でも土壌中のストロンチウムの調査を行う予定はありますでしょうか？行わないとすれば、その根拠をお聞かせ下さい。

質問 13 一部のモニタリング校において、校庭中央の空間線量より側溝上の線量が高く、 $0.1\mu\text{SV/h}$ を超えているにもかかわらず、側溝の汚泥の土壌が検査されていません。側溝の汚泥の土壌検査を追加で行っていただけませんか？強風にもない舞い上がった放射性物質を子どもたちが吸入し、内部被ばくしてしまう危険性を多くの親は危惧しております。行わないとすればその根拠をお聞かせ下さい。

質問 14 震災後 8 カ月が過ぎ、放射性汚染物質の自然濃縮が進んでいる可能性が指摘されています。学校施設、公共施設、公園等において自然濃縮が進みうる場所（雨どい・集水枡・側溝・ネット下等）を含めて空間線量と土壌調査をより詳細に実施していただくことは可能でしょうか？ 松戸市のように公園内の放射線マップを市のホームページ上で公開、もしくは公園の入り口に掲示していただけると、安心して子ども達を遊ばせることができるのですが、新潟市でこのような対応は可能でしょうか？

その他

質問 15 福島県への部活動に関連した遠征や、福島県で開催される大会への参加について、新潟市として今後どのように考え、対応していく予定でしょうか。放射線に対する感受性が高い子ども達が、チェルノブイリにおける移住の義務区域・権利区域と同程度に汚染された地域に出向く事には、問題があると私たちは考えております。先日福島で開催された東日本女子駅伝について、新潟市は把握しておりましたでしょうか？

子どもたちを放射能から守る会@新潟